

連合大阪 大阪市長選挙勝利総決起集会決議

11月13日告示・11月27日投票の日程で大阪市長選挙が実施される。私たち連合大阪は、この4年間で大阪市政を着実に前進させた平松邦夫市長を再び推薦することを決定した。選挙戦は事実上、大阪維新の会の候補者との一騎打ちの様相を呈している。

この選挙は、間違いなく大阪の将来を左右する非常に重要な戦いであり、大阪市を分断、解体、消滅させ、大阪を無用の混乱に陥れようとするものとの戦いである。

2011年3月11日、国難とも言える甚大な被害を及ぼした東日本大震災の中で、改めて重要視されたのは、地域における人々の連帯や「絆」であった。

しかし今、大阪維新の会により、民意を扇動しながら行なわれようとしていることは、人々を分断し、働く人と人との間の不信感を高める愚行であり、連合、連合大阪が目指す「働くことを軸とする安心社会」とは決して相容れないものである。

私たちは、小泉ポピュリズム政治が、そして新自由主義的政策が招いた格差社会という歴史的事実を忘れてはならない。

生産年齢人口の減少や、高止まりした失業率など多くの雇用問題を抱え、地域の活性化が何よりも求められている大阪にとって、今必要なことは、為にする行政制度論ではなくて、多様な価値観を持つ人々が地域を大切にしながらつながりあい、多くの人々が集う、魅力ある大阪の構築を目指すことである。

改めて言う。

今、大阪の街が危機に瀕している。

今、大阪における民主主義の根本すらが否定されようとしている。

「ストップ the 強権政治」、「ストップ the 独裁政治」「ストップ the 大阪市分断」。

私たちは大阪の地に働く者の尊厳を賭けて、連合大阪全組合員が具体的な行動を積み重ねることにより、この厳しい戦いに勝利することを誓い合うものである。

以上、決議する。

2011年10月28日

連合大阪 大阪市長選挙勝利総決起集会